

教材名「面積の求め方について」

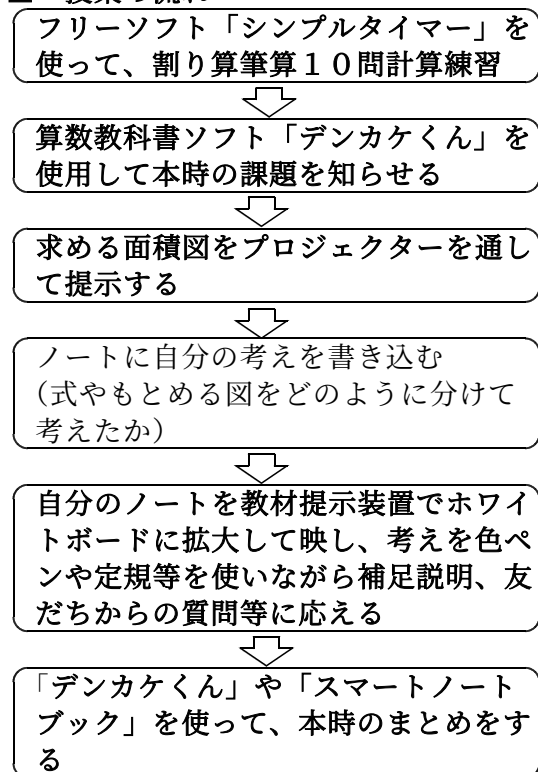
■ 目 標

- ・ 長方形、正方形の公式を使いながら、変則的な面積を工夫して求めることができる

■ コンピュータを活用する利点

- ・ 実物では小さな物でも拡大でき、全員でそれを共有化し学習できる
- ・ 動画が使えるところ、授業で使いたい箇所、したくない箇所を容易に調整できる
- ・ 比較的簡単に教材準備ができる

■ 授業の流れ



■ ICT活用場面

①計算練習をするにあたり、今までは時間計測のため、ストップウォッチを児童一人ずつに渡していたが、このソフトを利用することで、画面上に拡大したストップウォッチを表示することができる。

②教科書には、解法がそのまま掲載されているページもあるが「デンカケくん」を使うことで、提示したい箇所や伏せておきたい箇所等を容易に調整することができる。

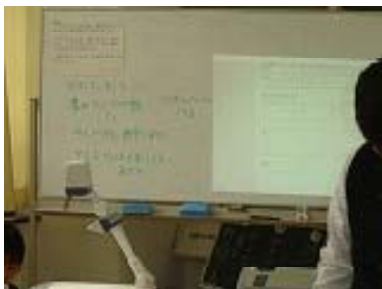


③ノートに自分の考え等を丁寧に書きこませるとともに、その考えが詰まったノートをもとに、みんなで意見交流させる際に、教材提示装置を活用する。
ホワイトボード上にノートの画像を映し出すことによって色ペンや定規を使いながらのリアルタイムでの補足説明も可能になる

④質問がある場合もホワイトボードに尋ねたいことを書き込むことにより、その内容を全体で共有することができる。

■ 成果と課題

教材提示装置は教科書や子どものノートを容易に拡大でき、全員で共有することができる。それを使ってのコミュニケーションを図ることが可能であり、子どもたちは意欲的に学習に取り組んだ。電子ボードは、準備に時間を要したり、ずれが生じた場合修正するのに時間がかかったりする等の問題があるが、普通のホワイトボードを利用することで、その問題を解決することができた。また、ホワイトボードの色ペンや定規等は、低学年児童でも簡単に使用できるよさがある。照度の加減で多少見えづらくなる時もないとは言えないが、現在の教材提示装置はワンタッチで焦点化され、ノートに書かれた小さな字でも拾うことができるほどきれいに映像化されるようになっている。



■ ICT活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン1台、教材提示装置1台 プロジェクタ1台（普通のホワイトボード）
使用ソフト名	教科書ソフト「デンカケくん」 「シンプルタイマー」 「スマートノートブック」
使用教室	普通教室